

同和問題（部落差別）社会教育用研修資料の活用について

1 研修のポイント

- ・同和問題（部落差別）の概要及び最近の動向について学ぶことで、同和問題（部落差別）についての正しい理解を深めるために作成しました。
- ・資料を加工し、各自治体の実態に合わせて活用いただいても構いません。
- ・人権感覚育成プログラム（社会教育編）「これでいいの？面接試験」も併せて活用することで、受講者に同和問題（部落差別）を自分のこととして捉えさせることができます。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/146904/400312.pdf>

2 研修の流れ

分	研修内容	留意点等
1	○研修のねらいについての説明	・研修のねらいについて、スライド①をもとに説明する。
19	○研修担当者による説明 ※ 同和問題の概要及び同和地区における差別の歴史については、以下の動画の一部を視聴することで代替することもできる。 人権アーカイブ・シリーズ「同和問題～未来に向けて～」(19分) https://www.youtube.com/watch?v=TqRMVdVtoss (YouTube 法務省公式アカウント「MOJ Channel」)	・スライド②～⑰をもとに、同和問題の概要、同和地区における差別の歴史、部落差別解消推進法、県の条例の内容等について説明する。
19	○演習	・グループをつくり、スライド⑱をもとに、テーマ1、テーマ2の内容について話し合う。 ・話し合った内容について、グループの代表者が発表し共有する。 ・テーマ1、テーマ2についての基本的な考え方について、研修担当者がスライド⑲⑳をもとに説明する。
1	○まとめ	・研修担当者がスライド㉑をもとに話をする。 ・さらに学習を促すために、スライド㉒をもとに参考資料を紹介する。